

くまのぞ地域協創センター
イキ×ラボ
環境学習プログラム

大阪樟蔭女子大学 × 門真市 児童学科の学生が提案する、「もったいない」普及講座

～親子で工作教室『ペットボトルロケット』～

日時：10月1日（日） 13:00～15:00 / 場所：門真市リサイクルプラザ

大阪樟蔭女子大学（東大阪市）は、門真市環境政策課より依頼を受け、2016年よりエコをテーマに門真市の親子を対象とした『環境学習プログラム』の取組みを行っています。このプログラムでは、学生がそれぞれ普段の学びを生かして企画した、「もったいない」の普及活動を行っています。

今回は、本学健康栄養学科の学生による3つのエコクッキングにひきつづき、児童学科の学生による工作教室を開催します。普段使わないもの・捨ててしまうものを役立て、参加者とともに環境保全活動のきっかけづくりに貢献します。

また、秋には2つのエコクッキングを開催予定です。是非取材にもお越しくください。

- 【本件の概要】
- 普段使わないもの・捨ててしまうものを役立てた工作を考案
 - 親子で地球環境を意識したくらし考え、実践する場を提供
 - 学生は、大学での学びを活かし、自分たちのアイデアでイベントを企画運営

10/1
（日）

『ペットボトルロケット』

日時：2017年10月1日（日）13:00～15:00

場所：門真市リサイクルプラザ（深田町19番5号）

対象：門真市の小学校1～6年生の親子20組40名

講師：「もん。」（児童学科3年生の8名）

申込締切：2017年9月12日（火）まで



使い終わったペットボトルと牛乳パックを使って、ペットボトルロケットをつくります。「なぜ飛ぶのか」から一緒に勉強し、完成したペットボトルロケットを打ち上げましょう。

『環境学習プログラム』とは

3R（Reduce：ごみの減量、Reuse：再利用、Recycle：再資源化）など、地球環境に配慮した生活様式の浸透を図り、「もったいない」を意識した普及講座を開催。使い終わったペットボトルや牛乳パックを利用した工作教室、普段捨ててしまいがちなものも役立てて料理するエコクッキング講座など「エコ」をテーマに学生が自由に企画します。

「イキ×ラボ・チャレンジプロジェクト」とは

地域が抱える「課題」の解決や「地域活性化」を目指し、学生が主体になって、地域や行政と連携しながら貢献活動を進めていくもの。プロジェクトは多種多様で、『環境学習プログラム』もそのなかのひとつ。

<本リリースに関する問い合わせ先>

学校法人樟蔭学園 100周年記念事業本部（担当：宮田）

〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26 / TEL:06-6723-8152（直通）

FAX:06-6723-8263 / E-mail: 100th@osaka-shoin.ac.jp